

平成 28 年度重要生態系監視地域モニタリング
推進事業(モニタリングサイト 1000)里地調査

生物多様性センター

愛媛県生物多様性センターでは、環境省が全国規模で基礎的環境情報の収集と長期生態系観測を行う、重要生態系監視地域モニタリング推進事業(モニタリン

グサイト 1000)里地調査において、四国地区重要監視地点(コアサイト)となっている東温市上林地区で平成 20 年度から水質調査を実施している。

平成 28 年度も引き続き、拝志川流域の 5 地点(河川 4, ため池 1)で 4 月 25 日, 6 月 20 日, 8 月 31 日, 10 月 19 日, 12 月 19 日, 2 月 20 日の計 6 回調査を実施した。結果は以下のとおりである。

平成 28 年度モニタリングサイト 1000 里地調査 (水質調査) 結果*

調査項目	4 月	6 月	8 月	10 月	12 月	2 月
水温 (°C)	13.3	16.6	18.1	17.0	8.8	6.0
	18.0	23.6	25.1	17.6	10.0	6.5
水位 (cm)	16.8	26.0	28.0	29.5	17.3	15.8
	760	760	760	760	760	760
水色	—	—	—	—	—	—
	16	17	18	19	17	17
透明度	100.0	85.0	95.0	100.0	100.0	100.0
	100.0	100.0	100.0	90.0	100.0	100.0
pH	7.2	7.2	7.4	7.2	7.2	7.1
	7.4	7.4	7.0	7.2	7.0	7.0

※上段は河川 4 地点の平均値, 下段はため池 1 地点の値

調査方法は、「モニタリングサイト 1000 里地調査マニュアル」(環境省・(財)日本自然保護協会)による。

平成 28 年度特定外来生物疑い種情報の同定
結果

生物多様性センター

環境省は、特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律(平成 16 年法律第 78 号。以下「外来法」という。)により、生態系等に係る被害を及ぼし、又は及ぼすおそれのある外来生物を、特定外来生物として政令で指定している。

愛媛県生物多様性センターでは、県民及び市町担当窓口等から捕獲の情報提供があった特定外来生物疑い種について、標本や画像データを基に、愛媛県生物多様性アドバイザーの協力を得て同定を行った。同定結果は速やかに関係市町や情報提供者に伝達し、特定外来生物であると同定された場合は、関係機関の協力を得て、現地での対策活動を実施した。同定結果は以下のとおりである。

1 アライグマ *Procyon lotor* 疑い種

情報提供先 四国中央市(3 件), 西条市(1 件), 今治市(1 件), 松山市(1 件), 大洲市(1 件)

合計 7 件中 4 件がアライグマと同定された。

2 ゴケグモ類疑い種

情報提供先 西条市(3 件), 松山市(1 件)

合計 4 件中 3 件がセアカゴケグモ *Latrodectus hasseltii* と同定された(表 1)。その他のゴケグモ類は確認されなかった。

3 ツマアカスズメバチ *Vespa velutina* 疑い種

情報提供先 今治市(1 件), 伊予市(1 件), 宇和島市(1 件)

いずれも確認されなかった。

4 アルゼンチンアリ *Linepithema yhumile* 疑い種

情報提供先 新居浜市(1 件)

確認されなかった。

5 ヒアリ *Solenopsis invicta* 疑い種

情報提供先 四国中央市(1 件)

確認されなかった。